

日時：2018年12月14日（金） 13:30～17:00  
 場所：富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター 東京 Studio-A  
 出席者：28名  
 研修テーマ：新しい学びの場（高校におけるICT活用，高大接続共創）

## 1. 研修内容

第5回分科会は「新しい学びの場（高校におけるICT活用，高大接続共創）」を研修テーマとし、富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター 東京を会場とし開催しました。

当日は、N高等学校 副校長 上木原 孝伸 様より「『未来の教室』を今、つくる ～N高の挑戦と課題～」と題して、2016年に「ネットの高校」として開校し、現在7,200名を超える生徒が在籍しているN高等学校の未来に必要な学びを追究し、通信制高校の仕組みとネットを活用しながら「未来の学校」を創る取り組みと課題についてご紹介いただきました。後半は、参加者が質問（「学習に対するモチベーションの継続。取り組み・施策」、「7千人の生徒を何人の教員で担当しているのか？また、教員はどういう出身の人か」、「就職・進学に対する考え方」、「N高が大学に期待すること」など）を提示し、上木原様の他、参加している高等学校の先生、大学側の入試関係者などからも、各校の状況について回答をいただき、高校と大学間で貴重な情報交換をすることができました。

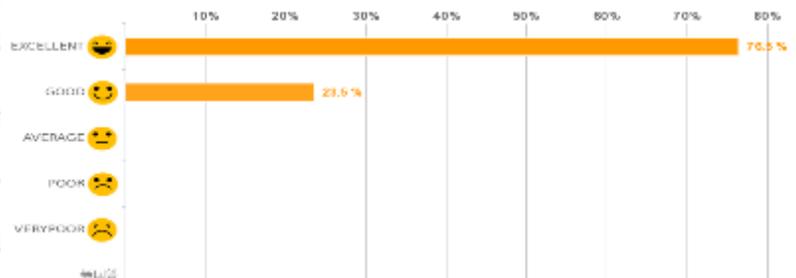
## 2. スケジュール

13:30～13:40	全体会 ・事務連絡
13:40～14:55	ご講演 「『未来の教室』を今、つくる ～N高の挑戦と課題～」 N高等学校 副校長 上木原 孝伸 様
14:55～15:15	休憩
15:15～16:45	意見交換
16:45～17:00	一年間のまとめ

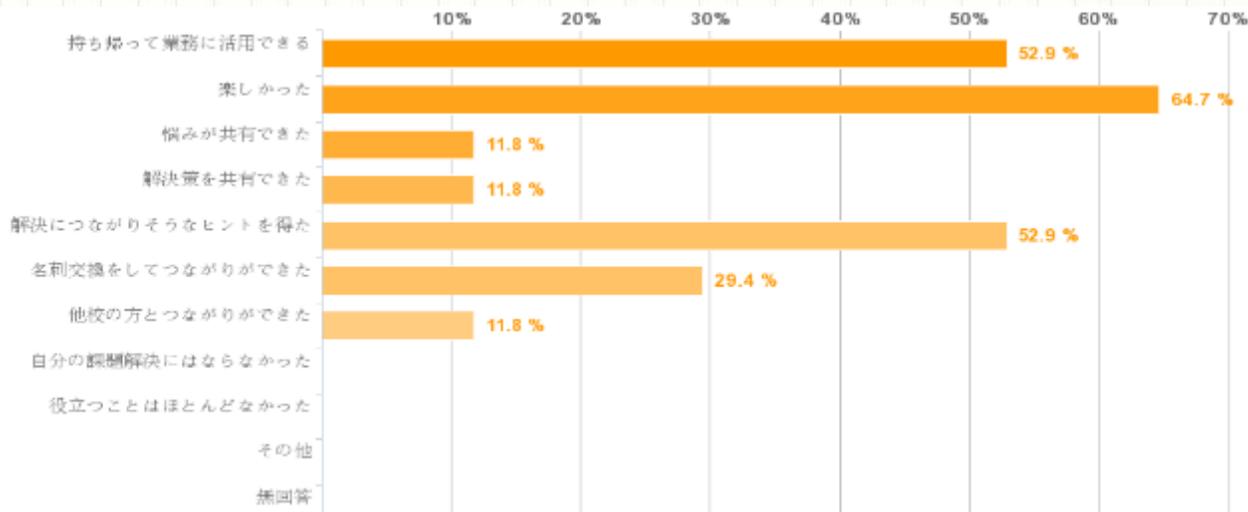


## 3. アンケート結果 【回答数17】

【Q1】今回の分科会についてお答えください。



【Q2】それはなぜか理由をお答えください（複数回答可）。



【Q3】今回の分科会に関するご意見・ご感想があればご自由にご記入ください。

- ・企業が経営されている学校法人の方の話聞くのは初めてだったので、非常に貴重な話であった。
- ・N校ネットシステムの基盤について知ることができ参考になった。教育の概念が変わった。
- ・高大接続に課題があるのは、高校も大学も同様なのだと感じました。また、ICT活用について運用の実際なども興味深かったです。
- ・N高校は、今注目の学校ですが、実情がなかなか分かりませんでした。今日は直接N高校の先生の話がきけてとても参考になりました。
- ・とても勉強になりました。グループディスカッションができればさらに良かったと思いましたが、お話を詳しく聞けたので良かったです。
- ・N高は通信制の要素もあるが、目的としても実際でもそれとは異なることが良く判った。オフレコ的な内容の話も伺えて勉強になった。
- ・開校して数年でここまでの成果・形になっていることに驚きました。N高 上木原副校長のトークも楽しく最初から最後までとても興味深く聞かせていただきました。
  - ・新しい教育の取組みを知る事が出来てとても参考になった。
- ・通常の高校の形に比べN高校の取り組みは、すばらしいと思います。もしN校が、これまでの高校にかなわない部分があるとしたら何かな？と思いました。
  - ・初めてN高のことを知りました。内容が新鮮でとても楽しかったです!!
- ・ドワンゴさんから引きつがれているスピード感と上木原さんたちN高校運営者の教育に対する姿勢や新しい価値観に触れることができました。
  - ・つかれました…
- ・N高校の名前はよく聞いていましたが、詳しい事はよく知らなかったのでもって為になりました。社会が本当の意味でN高を評価出来るようになるまでまだ時間がかかると思います。
  - ・改革のスピード感はずいと思った

【Q4】今後、分科会で扱ってほしいテーマや、施設見学・事例・ワークショップなど内容についての案やご意見がありましたらご記入ください。

- ・ラーニングコモンズの有効活用方法
- ・学修ポートフォリオと評価について
- ・MOOCの今後について!!
- ・今回の分科会のような民間で大学と繋がっている企業の話が聞いてみたい
- ・業務のRPA化など扱ってほしいです。
- ・高大接続 N高の施設見学してみたいです。
- ・高大接続ということでは、普通の高校とも会話の場があっても良いと思いました。
- ・AIを使った教育・とりくみ（ディープラーニング） プログラミング教育（小中高）
- ・高大接続、eポートフォリオと大学入試
- ・LMS（今年度8月）に参加したかった。引きつづきLMSに関するテーマも継続してほしい。
- ・学修成果の可視化 内部質保証 研究支援
- ・高大接続・入試・広報等の内容を扱ってほしい。
- ・講演として心理学や印象学のようなものを聞けたらと思います。

【Q5】C S 研の運営や活動等に関するご意見やご感想がありましたらご記入ください。

- ・大変すばらしい活動です。
- ・本日初めて参加しました。どうぞよろしく願いたします。
- ・一年間ありがとうございました。
- ・事務システムにいつも参加しているのですが、また参加してみたい。
- ・お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・開催時間13:30 - 17:00は助かります。13:00では少し厳しいので、たくさん参加することはできなかったのですが、どの回も楽しかったです。1年間ありがとうございました。
- ・大学の参加校が増えてほしいです。

#### 4. 参加校 [10校13名] ・賛助企業[3社15名]・参加総数28名

青山学院高等部[1] 関東学院大学[2] 共立女子大学[1]	芝浦工業大学[1] 芝浦工業大学附属中学高等 学校[1] 清泉女子大学[1]	東海大学[3] 東洋学園大学[1] 大東文化大学第一高等学校[1] N高等学校[1]	東通産業（株）[2] ファーストスタープロジェクト [1] 富士通株[10] 事務局[2]
--------------------------------------	---	---	---

#### 5. 所感

経営されている企業のアンテナの高さ・スピード感・達成指標などを効果的に活かされて、数年でここまでの形にされたことに驚きました。新しい教育の視点・教育活動、生徒さんの反応、運営の課題など、さまざまな話を伺えて大変有意義な活動となりました。

（富士通 文教ビジネス推進統括部 ソリューション推進部 宮島）